

そよかぜ 11月園便り

令和3年11月1日（月）
西東京市立そよかぜ保育園

いつの間にか長袖の上に少し暖かめの上着を羽織るような日もあり、つい先日「吹く風が秋めいてきた」と感じていたのに、早くも冬の足音が聞こえてきそうです。

10月は「運動会」から始まり、「秋祭り」に「秋刀魚パーティー」…リズム遊びやかかけっこなどで思い切り身体を動かした**スポーツの秋**・クラス毎にいろいろな製作を楽しんだ**芸術の秋**・そしてジュージューと火に脂が落ちる音、香ばしい匂いに目の前に広がる煙…と皆の五感に染み渡った**食欲の秋**。子どもたちは様々な「秋」を満喫しています。

今、来年度入園希望の見学者の方がたくさん来園しています。見学の際には、そよかぜ保育園で大切にしていることを子どもたちの様子を直接見てもらい、その姿を通してより具体的に伝えています。

子どもたちは屈託なく見学者の方に声をかけ、一緒に来ている赤ちゃんにも優しく接してくれます。殆どの方が「子どもたちが皆元気で明るくて、保育園の雰囲気がとてもいいですね」と言ってくださって、何よりの誉め言葉だと嬉しく思います。

保育園で色々な経験をする中で、子どもたちは自分に自信を持ち、他の人に対しての思いやりの気持ちも育っていているんだな、と改めて思う今日この頃です。

今月も「鯉祭り」や「遠足」、「大根堀り」など予定しています。子どもたちがそれらを通じて何を感じ、どんなことを身につけていくのか、これからの姿を私たちも楽しみにしています。

状況を見ながら、保護者の皆さんにも参加していただけるような活動を考えていきたいと思っています。クラス毎に保育参加や保育参観、また個人面談なども随時計画していきます。

何か疑問や質問などありましたら、いつでもお声かけください。

皆さんにとっても実り多き季節となりますように！

職員体制についてのお知らせ

※配布した園便りにのみ記載しております。



クラス通信

お散歩にいこうか〜と話をしていると頭に手を置いて「ぼーし!」と帽子を被って外に行こうと張り切っていますよ。お散歩先は“まつぼっくり公園”や“いこいの森公園”に行くことが多いです。

公園ではどんぐりを拾ったり、赤や黄色に紅葉した**落ち葉**を拾ったりして、「あっ!」「おっ!」と声をあげながら見つけた物を見せてくれます。

体を動かしお腹を空かせて食事。食後は**沐浴**をして体を温めてからお昼寝をしていますよ。体調を崩さないように元気に過ごしていきたいです。



先日の秋祭り。ホールが畑に大変身して収穫祭が始まりました。子どもに話した訳ではなかったのですが、入った瞬間にまるでバーゲン会場のような勢いで手に持っていったかごに野菜や果物を詰め込む子、どれにしようかな〜と選んでいる子と様々に楽しんでいましたよ。

天気の良い日には、いこいの森で探索活動。その内、視線は**ランニングコース**に!!それいけ!!と次から次へと出ていったあひる組。大人も負けじとそのまま走り出し、気づくと雑木林の周りのランニングコースを**1周半**走っていました。体力がついたなあ〜と感じた瞬間でした。これから寒くなってくるとは思いますが、健康に気を付けながら元気いっぱい遊んでいきます。

寒くなってきましたが、すずめ組のみんなは元気。“よーいどん”で走ったり、まてまて〜と追いかけてたくさん動いて体を温めていますよ。

今年は初めて**秋祭り**があり、すずめ組では**手形を紅葉**に見立て、大きな紅葉の木を作りました。みんなで集めた落ち葉も糊を塗ってペタペタ。「もっとやりたーい!」と楽しんで作っていましたよ。当日は、みんなでお揃いの風呂敷を手にホールへ。ぶどうやりんご、大根など、秋の収穫物がたくさん実っていて、大喜びで収穫。「お家に帰ったらママとパパと食べるんだ〜!」と両手にたくさんのお土産を抱えて話していましたよ。

今月も園庭や散歩先で、寒さも吹き飛ばぐらいたくさん体を動かして遊んでいきます!



芋堀り後、**東伏見公園**に遠足へ。公園へ向かうバスの車窓に風に乗って飛んでいく葉っぱを見つめ「どこから飛んでくるの?」「どこに飛んでいくの?」と見とれる子ども達。「どこへいくのかな? 葉っぱさんまたね!」と話しているうちに目的地に到着。

子ども達と滑り台の頂上に立つと遠くに雪をかぶった**富士山**が雲一つない空にくっきり見えていました。「わー、富士山が見えるよ」と指さすと「どこどこ……」と言いながらも、すぐに「滑り台楽しい〜」という声。大人の感傷に浸る思いと裏腹に、芋を掘ってきた後とは思えない力強さで斜面を掛け上がってきては滑り、友達と連なっては滑り、思いっきり遊んだ長〜い一日でした。その後のお弁当は格別で満面の笑みで食べていましたよ。

今月は、掘ってきたお芋でさて何が出来るでしょうか?調理保育です。

肌寒い日も増えてきて、段々と秋から冬へ季節が変わっていく中、散歩先ではかけっこや増え鬼、ドロケイなどたくさん走って遊んでいます。夢中で遊び、帰る頃には着ていた長袖を脱いで半袖になる程！元気いっぱいのはつばめ組です。

また公園の遊具では、ロープタワーの一番上まで登ったり、ブランコを自分で漕いだり、登り棒の上から降りたり…と、出来ることが増えてきて楽しんでますよ。

10月はイベントが盛りだくさんで、「あと何回寝たら運動会？」「秋祭りはいつなの？」「さつまいも掘り行くんだよね！？」と毎日行事を心待ちにしていたのですが、11月も遠足や鮭祭りとお楽しみがいっぱいです！



行事が盛り沢山だった10月。少しですがご紹介します。

運動会：毎日のように遊んできた“リズム遊び”。年長クラスになると、身体が巧みに動かせるようになり、手が真っ直ぐ伸びきっていて美しかったり、ピアノやお友達とテンポを合わせたりしている姿を自信持ってがんばりました！

秋祭り：お神輿2台の装飾。玄関に飾ってありました1台は、現年長クラスのお祖父さんが作ってくださったもので、通常の“夏祭り”であれば全員で園外へ担いで行くお神輿です。もう一台は今年作成した土台に、グループで相談して描いた絵を飾りました。秋祭り当日は雨でしたが、翌週、年長の保護者の方々も参加いただき、園庭で担ぎました！

その他は、縄などをしまう自分専用の“縄袋”を玉葱染めで作ったり、さんまパーティーでの園庭での食事、サツマイモ掘り。11月もお楽しみがいっぱいですよ。



11月 園行事

- | | |
|---------------------|--------------|
| 4日（木）4オクラス遠足 | 16日（火）歯科検診 |
| 5日（金）5才四園交流 | 18日（木）耳鼻科健診 |
| 8日（月）藤井先生 | 24日（水）合同避難訓練 |
| 9日（火）鮭祭り | 25日（木）誕生会 |
| 10日（水）2オクラス遠足 | |
| 11日（木）栗本先生体育遊び・布団乾燥 | |

※ 20日（土）に予定しておりました『親子遊ぼう会』は中止とさせていただきます。

そよかぜ HP QRコード

▼ ホームページ情報

10月の園行事（運動会、秋祭り等々）もBlog内にてご紹介していきますので是非ご覧ください。



運動会を終え、一段とたくましくなった子ども達。

サンマを焼いて食べたり、お芋ほり・焼き芋、鮭まつり・ちゃんちゃん焼き、遠足・・・
毎日大忙しで、楽しい秋。 実りに感謝しながら存分に過ごしています。

あらゆる活動の源である体力。健康で意欲的に生活するうえで欠かせない体力は、「面白そう！

やりたーい！」と興味をもった時、しり込みしないで挑戦する事に繋がります。

ドキドキしながら、失敗を繰り返しながら取り組むうちに身体の使い方もスムーズになり、楽しくなります。「真似っこ・真似っこ」を繰り返し、ちょっと頑張ればできるかな？・・・と挑戦する気持ちを大切にしながら、毎日を重ねることで、心と身体が大きく成長します。

保育園には沢山のお友達があります。互いに支え合い、歩く・走る・跳ぶ・投げる・捕まえるなどの基礎的な動きを繰り返しながら過ごす毎日。その繰り返しが豊かな心と体を育て、考える力を育てていきます。

幼児教育の基本は「生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なもの」と位置づけられています。

そして幼児期の学びの特性は ①**五感を通じた体験の重要性** ②**「遊び」を通じて総合的に学ぶことの重要性** を上げています。(教育基本法より)

「一定時間 姿勢を正しながら、箸を持ち、茶碗を持って、こぼさないで食事する。」

肩の力を抜き、座位を保ち、手指が使える・・・かつて 5歳位になると当たり前になるようになってほしいと願っていますが、実際にはどうでしょうか。便利グッズに頼ることも多く、箸（スプーン）が上手に使えなかったり、茶わんを持つこともなく、肘をつき、… 筋力がついてない為、

瞬発力はあるですが、持久力が伴っていません。

便利になった現代＝生活文化の進歩がもたらした弊害と言えましょう。

鬼ごっこ かくれんぼ 泥んこ・・・ たくさん あそぼう!!!

運動会で存分に力を発揮する子どもたちを見ながら 再確認しました。

職員のつぶやき

美味しい旬のものでいっぱい、待ちに待った秋が来たかと思えば、あっという間に冬の訪れを感じさせる寒さになってしまいました。気を抜いたら風邪を引いてしまいそうなこの時期に毎年お世話になっているのが、母から教わった“生姜紅茶”です。紅茶にすりおろした生姜と、はちみつを入れるだけの簡単なものですが、身体が芯からぽかぽかと温まります。寒い日の朝だけでなく、喉が少しイガイガする時などにすぐ飲むようにしています。

社会人3年目と同時に親元を離れ3年目。自分では立派に自立できていたつもりでしたが、日々の生活の中で親からの教えに何度も助けられていることを、ようやく感じられるようになった私はまだまだだったのだな・・・と痛感しています。

親だけでなく、周りの色々な人たちに助けられて今の自分があります。4年目、5年目と何もしていなくても平等に時は進んでいく中で、昨日の自分より確実に成長できるように、そして周りの人たちへの感謝の気持ちと初心を忘れずに、1日1日を大切に過ごしたいと思います。

西東京市立みどり保育園 管理栄養士 湯之上朱音